

民主政治と政治参加 ①

監修・講師 杉田 敦
法政大学 法学部 教授

学習のねらい

私たちの社会全体のルールを決める政治ですが、日本を含む多くの国では「民主政治」として行われています。民主政治は、国政だけではなく、国際政治や地方自治などさまざまな場で行われます。民主政治にとって何より重要なのは、国民が広く参加することであり、参加の方法には選挙をはじめとしていろいろとあります。最も身近な政治である地方自治への参加についても考えてみましょう。

ポイント 1 私たちの民主政治

現在、国政などの場では、代表を選挙で選び、代表が議会などで議論して決める「間接民主制」が一般的です。そのため、政治は遠いところで行われているというイメージがありますが、実際には、社会のルールを決める政治はさまざまなところに見いだされます。

民主政治では国民の政治参加が重要であり、人々が政治に関心をもち、さまざまな形で参加し続けることが必要です。

学校などでルールを決める「小さな政治」も、国政などの「大きな政治」について考えるきっかけとなるでしょう。

選挙権が18歳からとなり、高校生でも選挙権が得られるようになりました。本格的な政治参加に向けて、政治を考える準備運動として、身の回りから、政治についての学習を進めてください。

探究活動のヒント

みなさんも「私たちが政治に関わる方法」をテーマに探究してみましょう。

政治参加の方法として、選挙以外にも、請願、政治献金、署名活動、そして集会やデモへの参加などがあります。地域での住民運動・社会運動も政治参加の一つです。選挙以外にどのような方法があるのかを調べることで、政治への関心を高めるきっかけになるかもしれません。

ポイント 2 地方自治のしくみと役割

地方自治は、住民の最低限の生活水準を守る役割をしています。かつては政策や財源などの

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

面で国に従う傾向がありましたが、近年では地方独自の活動も増えています。

地方自治は、最も身近な政治として、政治参加の仕方を学ぶ「**民主主義の学校**」とも言われています。

日本の国政では、国会で内閣総理大臣が選ばれますが、地方自治では、県知事や市区町村長などの首長が直接選挙で選ばれ、選挙で選ばれる議会と共に「**二元代表制**」のしくみとなっています。

地域での課題について訴える住民運動の役割も重要です。ごみ問題、まちづくりなど、地方自治の課題は多く、住民の積極的な参加が求められています。

探究活動のヒント

みなさんも、「地方自治に関わるには？」をテーマに探究してみましょう。

自分の住む地域の環境をどうするか、地域の振興をどうするか、あるいは、空き地利用をどうするかなど、それぞれの地域には重要な課題があります。

自分の住む地域のこうした課題について考えてみてください。

ポイント 3 国会のしくみと役割／内閣のしくみと役割

日本では、立憲主義の考え方に基づいて、三権すなわち立法権、行政権、司法権が分立しています。**(三権分立)**

立法権をになうのは「**国会**」で、国会は憲法で「国権の最高機関」であり「国の唯一の立法機関」と定められています。国会の役割としては、法律をつくる「**立法**」の他に、国の予算の承認、内閣総理大臣の指名などがあります。国会は「衆議院」と「参議院」の二院から成り、両者の決定が食い違った場合は、衆議院の決定が優先します。

国会が定めた法律に基づいて政策を実施する行政権をになうのが「**内閣**」です。内閣総理大臣はさまざまな国務大臣を指名して、内閣を構成します。内閣の役割としては、行政の他に、外交関係の処理や予算の編成などがあります。

内閣の下に、公務員すなわち「**官僚**」が属するさまざまな省庁が設けられています。

探究活動のヒント

みなさんも、「国会のあるべき姿とは？」をテーマに探究してみましょう。

国会とは、私たちが選んだ代表が、私たちの代わりに重要な政治課題について決定するところです。もしも国会がなければ、重要なことについて私たちが知らないところで決められてしまいかねません。国会の意義を確認するため、最近決められた法律などを取り上げ、それが私たちの暮らしにどう関係しているのか、考えてみましょう。